

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2021年10月現在

基本情報					
フリガナ 氏名	サカグチ 阪口	ユキトシ 幸駿	生年	1993年	
氏名(英字)	SAKAGUCHI	Yukitoshi	メールアドレス	ysakaguc(a)mail.doshisha.ac.jp	
学歴	2012年4月 京都工芸繊維大学工芸学部応用生物学課程 入学 2016年3月 京都工芸繊維大学工芸学部応用生物学課程 卒業 2016年4月 同志社大学大学院脳科学研究科発達加齢脳専攻 一貫制博士課程 入学 2021年3月 同志社大学大学院脳科学研究科発達加齢脳専攻 一貫制博士課程 修了				
職歴	2018年4月-2021年3月 日本学術振興会特別研究員(DC1) 2021年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構 特別任用助教(有期研究員)				
指導教員	櫻井 芳雄 教授	取得学位	博士(理学)	専修外国語・読解可能な外国語	英語
研究活動					
研究分野	神経科学、心理学、動物行動学、人間科学、認知科学				
科研費分類による研究分野	認知脳科学関連				
研究テーマ	脳の機能的左右半球差と半球間相互作用、ヒトらしさの認知的根源の理解				
研究概要	脳の左右差はヒトの左半球に偏った言語機能や右半球に偏った空間認知機能などで有名であるが、このような左右差は動物脳でも報告されている。動物脳とヒト脳の左右差と半球間相互作用の実態を比較神経科学的な視点から探究することで、生物が2つの半球を兼ね備える生理的意義の解明を目指す。また、左右半球での分業はヒトのヒトらしさを司る心の理論や言語、数、音楽など様々な機能群との関連が示唆されており、これらの機能に共通した認知基盤を見極めることで、ヒトがヒト以外の動物とは異なる創発的で創造的な唯一無二の特徴を有するメカニズムの解明につなげる。				
研究業績	<p>[原著論文]</p> <ol style="list-style-type: none"> Sakaguchi Y, Sakurai Y. Disconnection between rat's left and right hemispheres impairs short-term memory but not long-term memory., Symmetry, MDPI, 13(10), 2021. Sakaguchi Y, Sakurai Y. Left-right functional difference of the rat dorsal hippocampus for short term memory and long-term memory., Behavioural Brain Research, Elsevier, Vol. 382, 112478, 2020. Sakaguchi Y, Sakurai Y. Reduction of hippocampal new-born neurons survival by working memory training with delayed non-matching to sample task in rats., PsyArXiv, Center for Open Science, 2020. Sakaguchi Y, Sakurai Y. Correction of medial prefrontal cortex and adrenal gland left/right imbalance by deep brain stimulation for depression in rats., PsyArXiv, Center for Open Science, 2020. 阪口幸駿. ラット幼少期母子分離ストレスが誘導する左右半球脳機能バランスの失調., 同志社大学赤ちゃん学研究センター紀要 BABLAB, 同志社大学赤ちゃん学研究センター, Vol. 2, pp. 37-38, 2018. Sakaguchi Y, Sakurai Y. Left-right functional asymmetry of ventral hippocampus depends on aversiveness of situations., Behavioural Brain Research, Elsevier, Vol. 325, pp. 25-33, 2017. <p>[著書]</p> <ol style="list-style-type: none"> 阪口幸駿. 「階層性と意図共有が会うところ～ヒトのヒトらしさの根源～」, 藤田耕司・岡ノ谷一夫(編), 『言語進化学の展開 新しい人間科学の進展』第14章, ひつじ書房, 印刷中. 藤原正幸, 近藤聡太郎, 阪口幸駿. 「ヒトおよび動物の同期・同調から見る意図共有」, 藤田耕司・岡ノ谷一夫(編), 『言語進化学の展開 新しい人間科学の進展』第10章, ひつじ書房, 印刷中. Sakurai, Y., Ohnuki, T., Shiroshita, R., Sakaguchi, Y., Shiotani, K. and Lee, C.J. Multipotentiality of the brain to be revisited repeatedly. I. Opris, and M. Casanova (Eds.) The Physics of the Mind and Brain Disorders - Integrated Neural Circuits Supporting the Emergence of Mind. Springer, 2017. 				
所属学会	日本神経科学学会、日本心理学会、日本動物心理学会、北米神経科学学会、日本発達神経科学学会、日本生理学会				
キャリア関連					
志望進路	国家公務員(文部科学省), シンクタンク, 大学URA職, 大学教員				
進路					

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

自己PR	現在、研究会の代表1件と運営3件を務めており、学術的な勉強会やシンポジウムの開催、若手研究者育成・キャリア形成に関わるセミナーの開催に注力している。また、研究内容が学際的なこともあり、上記で挙げた分野以外にも理論言語学や知能情報学、文化人類学など広い分野の知見を総合的に俯瞰してまとめるプロジェクトにも携わっており、この経験を活かした文理融合型の新規学術領域の創設や、日本の将来の学術の方向性の模索や現状の課題の整理などについても民間や行政の担当者と積極的に意見交換し、政策への反映を目指して活動している。
取得資格等	自然再生士補

※メールアドレスの(a)は@を表しています